

第4章 目標達成のための方策

1 目標の実現に向けて実施すべき事項

本市の二酸化炭素排出量は、産業部門の割合が少なく、民生（家庭・業務）部門が多くを占める住宅都市としての特徴があることから、民生（家庭・業務）部門を中心に対策を講じていきます。本計画では、二酸化炭素の排出を抑制し、低炭素社会を実現するために、広く地球温暖化対策についての情報提供を行うとともに、市民・事業者・行政（寝屋川市）の行動指針を示します。

(1) 市公共施設における率行的行動

市公共施設の整備計画等にあわせて、太陽光発電設備やLED照明等の導入について検討していくとともに、夏場においては、みどりのカーテンに積極的に取り組みます。また、「寝屋川市役所温暖化対策実行計画」に基づき、環境負荷の少ないエコ商品の積極的購入、市施設から排出されるごみの減量、リサイクルの促進、緑化対策等環境に配慮した公共事業の実施、市公共施設の省エネルギー・省CO₂施策の推進等、温室効果ガスの排出量削減のための行動を率行的に行います。また、寝屋川市グリーン調達方針に基づき、グリーン調達を実行します。

行政（市）の施策（例）

施策	内容
第3期寝屋川市役所温暖化対策実行計画の推進	・寝屋川市役所地球温暖化対策推進委員会による対策強化
市公共施設の緑のカーテンの普及	・市公共施設において緑のカーテンの実施例の写真を市ホームページに掲載
職員向けエコドライブの促進	・公用車使用時のエコドライブ実践事項を各課へ呼びかける。
グリーン購入調達方針の継続	市は次の原則により製品を購入することとする。ただし、環境物品等の調達推進を理由として、環境物品等の調達量の増加を招かないように、必要性を考慮し、適正量を調達す

	<p>るものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「エコマーク商品」((財)日本環境協会作成)、「グリーン購入ガイドブック」(グリーン購入ネットワーク作成)、「グリーンマーク商品」((財)古紙再生促進センター)等を参考にすること。 ・使用中に、資源やエネルギーの消費量が少ない製品であること。 ・再生材料を使用していること。 ・再生しやすい材料や部品、設計となっていること。 ・廃棄されるとき処理や処分が容易な製品であること。
市職員向け環境家計簿の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・市職員への環境家計簿の実施により環境に対する意識向上を図る。
寝屋川市駅周辺の街路灯のLED改修事業	<ul style="list-style-type: none"> ・寝屋川市駅周辺の街路灯をLED街路灯へ改修し二酸化炭素排出の削減を図る。
身近な水辺の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒートアイランドの緩和のため水路やため池等を整備し市内の水面積を増加していく。関係団体、市民、行政(寝屋川市)の意見を取り入れ身近に利用できる憩いの水辺空間を作り、夏場の打ち水の啓発や水生生物にふれあうことで環境学習の推進を図る。

(2) 市民への情報提供

図12を見ると、家庭における用途別の二酸化炭素排出量は、照明・家電製品などからによるものが32.7%と最も大きく、次いで、自動車からが30.3%で3番目に給湯からの13.6%となっており、この3項目で家庭から排出される二酸化炭素全体の約77%を占めています。

また、燃料別の二酸化炭素排出量を見ると、電気からが最も大きく42.4%となっており、次いで、ガソリンからが29.0%となっています。

このため、家庭での二酸化炭素排出量を削減するには、照明・家電製品などによる節電の取組が重要であることがわかります。

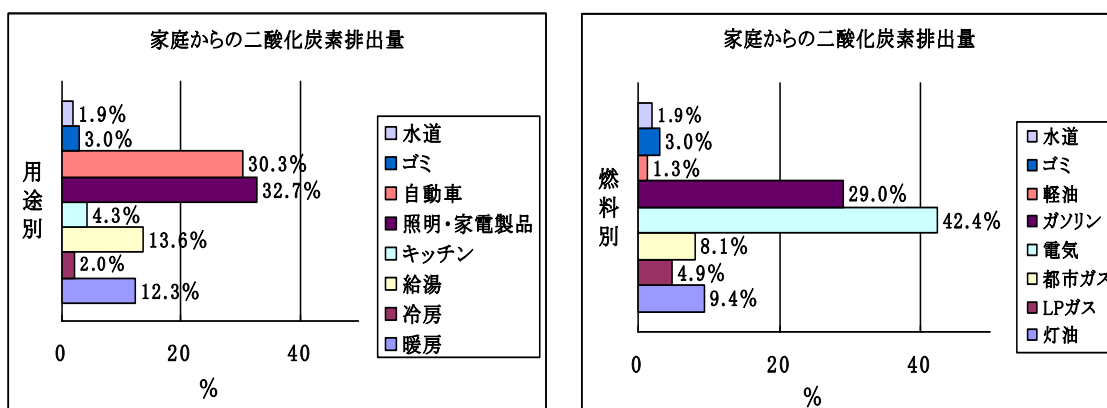


図12 一世帯当たりの二酸化炭素排出量

《出所：全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト》

家庭での具体的な取組としては、不要な照明の消灯や使用していない電化製品の電源を切ることや空調機の適切な温度設定、さらには待機電力の削減などが挙げられます。また、家電製品の買換えの際には、家電製品などが国の定める目標値(トップランナー基準=省エネ基準)をどの程度達成しているか、その達成度合い(%)を表示している省エネラベルを見て、年間の目安電気料金等を確認してから購入することが大切です。

用途別の二酸化炭素排出量の2番目に多い自動車については、買換え時のハイブリッド車や電気自動車、天然ガス車等の低公害車への更新やアイドリングの停止、急発進を行わないなどの対策(エコドライブ)が必要です。

用途別の二酸化炭素排出量の3番目に多い給湯については、給湯器の更新時に高効率の給湯器を導入することで、二酸化炭素排出量を大きく削減することができます。

その他の取組としては、環境家計簿によるエネルギー・CO₂を定量的に把握・評価し、省エネや省CO₂に取り組んでいくよう呼びかけていきます。一例として市民等に電力測定器を貸出し、家電製品の電力使用量を目で見て、実感して取り組める「見える化」への工夫を行っていきます。



図13 電力測定器（エコワット）

市民への施策（例）

施策	内容
・エコワット貸出し	・電力測定器による電気消費量及び消費金額の「見える化」
・環境家計簿の配布	・電気、ガス、水道、各燃料等を記入することにより各家庭での二酸化炭素排出量を確認する「見える化」
・エコライフ日記 (小学生の夏休み用)	・環境学習のひとつとして小学生を対象に省エネ行動を夏休み期間中、日記形式で記入し、環境に対する知識を育む「見える化」
・グリーンカーテン用のゴーヤの苗の配布	・市の各施設や市民にゴーヤの苗を配布し緑のカーテンを普及する。
・太陽光発電、太陽熱発電・太陽熱温水器等の再生可能エネルギーの導入促進	・広報、市ホームページへ掲載し、補助制度等へのホームページにリンクし、普及、啓発を図る。
・省エネ機器の普及、啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネラベル製品や省エネルギーに関する情報提供の充実を図る。 ・家庭用燃料電池の普及、啓発 ・高効率給湯器の普及、啓発 (CO₂冷媒ヒートポンプ式、ガスエンジン式、潜熱回収型等) <p>[市ホームページや環境省、経済産業省へのリンク]</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関及び自転車利用の促進、ノーマイカーデー啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災無線による毎月20日のノーマイカーデーの啓発 ・市内公共交通機関の充実や駐輪場の整備
<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座による地球温暖化対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内自治会や団体、小学校等へ出向き地球温暖化対策や生物多様性等について環境啓発・教室を実施
<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの普及、促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府と連携し、市民参加型エコドライブの実践体験の検討
<ul style="list-style-type: none"> ・環境イベント開催による啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・市主催の環境イベント「エコフェスタ」による環境啓発活動の実施
<ul style="list-style-type: none"> ・自然観察会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・水辺の水生生物観察会、ドングリウォッチング、冬鳥の観察会等の自然観察会を通して、温暖化による生態系や自然環境への影響等について啓発を行う。

家庭での取組みの具体例

はちがづきちゃんの環境家計簿

環境家計簿は、私たちが普段から使っている電気・ガス・水道・ガソリン・灯油などの使用量を減らすことによって、温暖化の主な原因である二酸化炭素の排出量を削減し、地球温暖化を防ぐことができます。

また、これらを減らすことによって、電気代なども安くなり、家計の節約にもつながります。特別な資格や知識は必要ありませんので、みなさんふるってご参加ください。

はちがづきちゃんの 環境家計簿

寝屋川市

あなたに合ったエコライフのスタイルを見つけよう!

○まずは該当する項目をチェックしよう!

- 暖房は20℃、冷房は28℃を目安に温度設定を行っている
- 冷暖房の必要のないときは消すように気をつけている
- 必要のない照明はこまめに消すようにしている
- 見ていないときはテレビを消すように心がけている
- 家電を使用しないときはコンセントを抜くようにしている

A /5

- ガスコンロの炎がなべ底からはみ出さないように調節している
- 追い炊きをせずに続けてお風呂に入るようにしている
- シャワーはお湯を流しっぱなしにしない
- ガスファンヒーターの設定温度は20℃を目安にしている
- ガスファンヒーターは必要なときだけつける

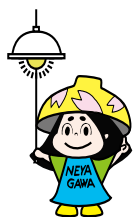
B /5

- 出来るだけ自転車や徒歩で出かけるようにしている
- アイドリングストップを心がけている
- ふんわりアクセルを意識して運転している
- 加減速の少ない運転を心がけている
- 早めのアクセルオフを心がけている

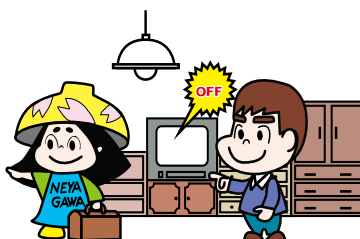
C /5



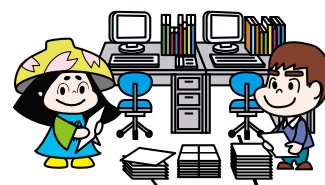
…いちばん少なかったのは??



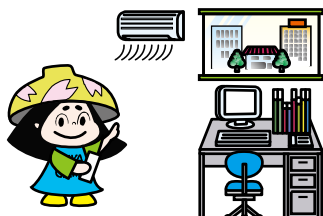
不要な照明は消しましょう



見ない時には、テレビの電源を切りましょう



新聞紙、コピー用紙などの紙ごみを分別しましょう。両面コピー、縮小コピーを利用しましょう



冷暖房は、適切な温度設定をしましょう
(夏は28℃以上、冬は20℃以下)



自動車の急発進、空ぶかしをしないようにしましょう



テレビゲーム・パソコンは、不要時には電源を切りましょう

(3) 事業者へ対しての地球温暖化対策の啓発

既存建築物における省エネルギー改修等、高性能化の促進を図るためESCO事業や民間事業者向けの省エネルギー改修補助制度等の情報提供を市ホームページより大阪府や国の各制度へリンクできるようにし、省エネ・省CO₂の技術や制度に関する情報の積極的発信へ取り組みます。

事業者への施策（例）

施策	内容
・ISO14001認証取得支援	・補助金制度
・環境省の事業所向け補助事業の情報提供	・二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 ・エコアクション21の情報提供 ・温室効果ガスの自主削減目標設定に係る設備補助事業
・経済産業省の事業所向け補助事業の情報提供	・温室効果ガス排出削減量連動型中小企業グリーン投資促進事業
・大阪府の支援事業の情報提供	・ヒートアイランド対策普及支援事業（関係金融機関との連携事業）
・ESCO事業の普及	・ESCO事業の情報提供（市ホームページへの掲載）
・再生可能エネルギーの導入促進	・再生可能エネルギーに関する情報や再生可能エネルギーの固定価格買取制度などの情報を提供

(4) 市民・事業者・行政（寝屋川市）の行動指針

ア 市民の行動指針

(ア) 省エネルギー・省CO₂

項目		具体的な取組
民生 家庭部門	家庭における省エネルギー行動	<ul style="list-style-type: none"> 「エアコンの温度設定」や「エコクッキング」等、日常生活における省エネルギー行動に取り組みます。 エコワットや省エネナビで電気使用量をチェックします。
	省エネルギー機器や設備の導入	<ul style="list-style-type: none"> エアコンや冷蔵庫等の家電製品や給湯器を購入するときは、エネルギー利用効率の高い機器を選んで購入します。またLED等の省エネルギー型の照明器具を導入します。
	住宅の省エネルギー性能の向上	<ul style="list-style-type: none"> 住宅の新築、改築時は、断熱性を向上させ、省エネルギー性能の高い住宅とします。
運輸部門	自動車に頼らないライフスタイルの実践	<ul style="list-style-type: none"> なるべく、徒歩や自転車で移動し、公共交通機関を活用するようにして、自動車に頼らない生活に取り組みます。
	低公害車の導入	<ul style="list-style-type: none"> 買替え時にはハイブリッド車や電気自動車、天然ガス車等の低公害車を優先的に導入します。
	エコドライブの実践	<ul style="list-style-type: none"> アイドリングストップや急加速をしない等エコドライブを徹底します。
廃棄物部門	ごみの減量やリサイクル、分別排出	<ul style="list-style-type: none"> マイバッグを持ち歩き、レジ袋をもらわない等ごみの発生抑制や再使用に努めます。 ごみの分別排出を徹底します。
その他	庭やベランダ等の緑化の推進	<ul style="list-style-type: none"> 庭やベランダの他、屋上や壁面等にゴーヤ等を用いた緑化を積極的に進めます。
	雨水の活用	<ul style="list-style-type: none"> 雨水タンクの設置等による雨水の有効利用に取り組みます。

(イ) 新エネルギー（再生可能エネルギー）

項目		具体的な取組
民生部門	再生可能エネルギーの活用	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電や太陽熱温水器等の再生可能エネルギーを積極的に導入します。

(ウ) 横断的な取組

項目		具体的な取組
環境学習や地球温暖化対策の取組への積極的参加		<ul style="list-style-type: none"> 環境に関する学習会等に積極的に参加してエコライフに関する知識を習得し、日常生活で実践します。 地球温暖化や環境保全等に関する情報を積極的に入手し、日常生活で役立てます。
省エネルギーや環境に配慮した製品の優先的な購入		<ul style="list-style-type: none"> 省エネルギーや環境に配慮した製品を優先的に購入するグリーン購入に取り組みます。
フードマイレージ ^{※6} 等を念頭に置いた消費行動の実践		<ul style="list-style-type: none"> 買い物をする際は、フードマイレージの小さな地元産の食品を購入し輸送に使われているエネルギー等を小さくする等、環境負荷の低減を念頭に置いた消費行動に取り組みます。

※6 フードマイレージとは、輸入食糧の総重量と輸送距離を掛け合わせたものである。食料の生産地から食卓までの距離が長いほど、輸送にかかる燃料や二酸化炭素の排出量が多くなるため、フードマイレージの高い国ほど、食料の消費が環境に対して大きな負荷を与えていることとなります。

イ 事業者の行動指針

(ア) 省エネルギー・省CO₂

項目		具体的な取組
民生 業務部門	自主的な地球温暖化対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・温暖化防止計画書や温暖化対策行動計画等を策定、実行する等、自主的な地球温暖化対策を進めます。 ・ISO14001やK E S^{※7}等の環境マネジメントシステム支援制度を活用しながら導入し、省エネルギーや省資源の取組を進めます。
	省エネルギー機器や設備の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギー診断による運用改善やリニューアルによる省エネルギー機器や設備の導入により、エネルギー利用効率を高めます。 ・またLED等の省エネルギー型の照明器具を導入します。
	温室効果ガス排出量の少ないエネルギーへの転換	<ul style="list-style-type: none"> ・ボイラー等で重油や石炭のエネルギーから、電気・天然ガス等に転換します。
	エネルギーの有効利用	<ul style="list-style-type: none"> ・企業間同士でエネルギーのやりとりの取組を進めます。
運輸部門	低公害車の導入、活用	<ul style="list-style-type: none"> ・買替え時にはハイブリッド車や電気自動車、天然ガス車等の低公害車を優先的に導入します。
	自動車利用の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車による移動を避け、徒歩、自転車、公共交通機関を積極的に活用します。 ・配送ルート、走行ルートの見直し等を進め、自動車の走行距離を削減します。 ・共同集配送等、他の事業者と連携した取組により、自動車の走行距離を削減します。 ・鉄道や海運とトラック輸送を組み合わせ、温室効果ガス排出量の少ない輸送に取り組みます。 ・自動車通勤から自転車通勤への転換を推奨します。
	エコドライブの実践	<ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップや、急加速をしない等エコドライブを徹底します。
廃棄物部門	ごみの減量やリサイクル、分別排出	<ul style="list-style-type: none"> ・製造方法の見直しやリサイクルの推進等により、事業活動で排出される廃棄物の削減に努めます。
その他	緑化の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・工場や事業場の周囲の緑化に努めます。
	雨水の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水タンクの設置等による雨水の有効利用に取り組みます。
	化石資源由来プラスチックから他の材料への転換	<ul style="list-style-type: none"> ・製品の製造等に利用している化石資源由来プラスチックを紙やバイオプラスチック等のカーボンニュートラルな素材に変更します。

(イ) 新エネルギー（再生可能エネルギー）

項目		具体的な取組
民生部門	再生可能エネルギーの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電や太陽熱温水器等の再生可能エネルギーを積極的に導入します。

※7 KESとは、国際標準化機構のISO14001とは別に、特定非営利活動法人KES環境機構が企業等の経営に当たって環境への負荷を管理・低減するために行っている環境マネジメントシステムのことです。

(ウ) 横断的な取組

項目	具体的な取組
環境教育の実施	・従業員に対して、環境保全等に関する研修や学習会を実施し、環境に配慮した事業活動に取り組みます。
製造、販売等をしている製品に関する情報提供	・製造、販売している製品のエネルギー消費量等の環境負荷に関する情報を消費者に提供し、環境にやさしい製品の普及を促進します。
低環境負荷型製品の製造、販売やサービスの提供	・省エネルギー型の製品や廃棄物となった後の環境負荷が少ない低環境負荷型の製品の製造や販売、サービスの提供に取り組みます。
省エネルギーや環境に配慮した製品の優先的な購入	・省エネルギーや環境に配慮した製品を優先的に購入するグリーン購入、グリーン調達に取り組みます。
エネルギーの使用の合理化	・省エネ法で指定されている工場・事業場等は、中長期計画書に従い、エネルギーの使用の合理化に取り組みます。
建築物の環境配慮措置	・大阪府温暖化の防止等に関する条例により、床面積が5,000㎡を超える新築・増改築を行う場合は、新エネルギーや省エネルギー等建築物について環境配慮をするよう取り組みます。

ウ 行政（寝屋川市）の行動指針

(ア) 省エネルギー・省CO₂

項目	具体的な取組	
民生部門 家庭・事業場における省エネルギー行動	・省エネ家電や機器を周知します。	
運輸部門 公共交通機関や徒歩・自転車の利用促進	・市民や事業者への情報提供や意識啓発を充実し、自動車に頼らない生活や事業活動の実施を促します。 ・公共交通機関の利便性向上に努めるほか、歩道や自転車道の整備を推進します。	
廃棄物部門 ごみ減量やリサイクルの推進	・市民、事業者に対する情報提供や意識啓発を進め、ごみ減量やリサイクルを促進します。 ・集団回収の活性化や分別収集の徹底等、ごみ減量やリサイクルの推進に努めます。 ・従前、焼却処理を行っていた保存期間満了の文書は溶解処理し、紙の原料の再利用に努めます。	
事務事業	環境マネジメントシステム構築支援	・事業場がISO14001及び国内環境規格（エコアクション21・KES・エコステージ）の認証を取得する際に制度を活用し補助します。
	環境ビジネスに対する支援	・経営支援相談を通じて、環境汚染防止や省エネルギー対策等、環境ビジネスに対する支援を行います。
	環境に配慮した設備の導入	・CO ₂ 排出量の少ない設備の導入を推進します。 (例：コージェネレーションシステム等) ・LED等、省エネルギー型の照明器具の導入を推進します。 ・透水性舗装及び浸透ます等の設置を推進します。
その他	緑化の実施	・ゴーヤによるグリーンカーテンの公共施設への普及・啓発を行います。
	雨水の活用	・雨水利用設備の導入を推進します。

(イ) 新エネルギー（再生可能エネルギー）

項目		具体的な取組
事務事業	再生可能エネルギーの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンセンター建替えに伴う太陽光発電システムの設置を推進します。 ・公共施設に太陽光等の自然エネルギーを利用した設備の導入を検討します。
	廃棄物の熱回収	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンセンター建替えに伴い、エネルギーの有効利用の観点から、ごみの焼却時に発生する余熱を利用した発電を行うことを基本とします。

(ウ) 横断的な取組

項目	具体的な取組
情報提供の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化に関する情報提供を充実し、市民や事業者の意識向上を図ります。 ・市民や事業者に省エネルギー機器や運用改善等の事例を紹介し、省エネルギー行動の意識向上を図ります。
環境教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や地域での環境教育・学習の機会を充実し、地球温暖化に関する意識向上と行動の実践を促進します。 ・環境教育に取り組む市民団体や事業者団体、NPO等を支援します。
地球温暖化対策に取り組む市民団体や事業者の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に関する情報提供を充実します。 ・環境保全活動支援事業を活用し、地球温暖化対策に取り組む市民団体や事業者を支援します。 ・省エネルギーや環境保全等に積極的に取り組む市民団体や事業場の顕彰や広報等で紹介する等により支援します。
フードマイレージ等を念頭に置いた消費行動の普及	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物をする際は、フードマイレージの小さな地元産の食品を購入し、輸送に使われているエネルギー等を小さくする等、環境負荷の低減を念頭に置いた消費行動を行うよう意識啓発を充実します。
地球温暖化対策の推進の仕組みの検討	<ul style="list-style-type: none"> ・国の温暖化対策に関する法律の改正等を踏まえながら、新たな制度を取り入れ、寝屋川市全体として地球温暖化対策を進めるための仕組みの導入を検討します。

日頃からの取組メニュー

空調（1台当たり）

取組の内容	効果試算の前提条件	削減効果		
		エネルギー	節約金額/年	CO ₂ 削減/年
暖房は20℃、冷房は28℃を目安に温度設定を行う。	冷房設定温度を27℃から28℃にする（外気温度35℃、使用時間9h/日）	電力 30.24kWh	726円	10.7kg (20.9kg)
	暖房設定温度を21℃から20℃にする（外気温度7℃、使用時間9h/日）	電力 53.08kWh	1,274円	18.8kg (36.6kg)
冷暖房の必要のないときは消すように気をつける。	冷房を1日1時間短縮する。（設定温度28℃）	電力 18.78kWh	451円	6.7kg (12.9kg)
	暖房を1日1時間短縮する。（設定温度20℃）	電力 40.73kWh	978円	14.5kg (28.1kg)

照明（1灯当たり）

必要のない照明はこまめに消す。	12W蛍光灯1灯の点灯時間を1日1時間短縮した場合	電力 4.38kWh	105円	1.6kg (3.0kg)
ランプを買い替える時。	54Wの白熱電球から12Wの電球形蛍光灯に交換する。	電力 84.00kWh	2,016円	29.8kg (58.0kg)

テレビ（1台当たり）

他の用事を行うときは、テレビをつけっぱなしにしない。	液晶テレビ（20型）を1h/日見る時間を減らす。	電力 15.00kWh	360円	5.3kg (10.4kg)
----------------------------	--------------------------	----------------	------	-------------------

台所（1台当たり）

冷蔵庫に詰め込んだものを整理して入れる。	詰め込んだ場合と、半分にした場合の比較	電力 43.84kWh	1,052円	15.6kg (30.2kg)
冷蔵庫の設定温度を適切にする。	周囲温度22℃で、設定温度を「強」から「中」にした場合	電力 61.72kWh	1,481円	21.9kg (42.6kg)
冷蔵庫は壁から適度な間隔を空けて設置する。	上と両側が壁に接している場合と片側が壁に接している場合との比較	電力 45.08kWh	1,082円	16.0kg (31.1kg)
長時間使用しない電気ポットのコンセントは抜く	ポットに満タンの水2.2Lを入れ沸騰させ、1.2Lを使用後、6時間保温状態にした場合と、プラグを抜いて保温しないで再沸騰させて使用した場合との比較	電力 107.45kWh	2,579円	38.1kg (74.1kg)
ガスコンロの炎がなべ底からはみ出さないように調節する。	水1L（20℃程度）を沸騰させる時、強火から中火にした場合（1日3回）	都市ガス 2.38m ³	319円	5.5kg

風呂（1世帯当たり）

追い炊きをせずに、続けて入浴する。	2時間放置により4.5℃低下した湯（200L）を追い炊きする場合（1日1回）	都市ガス 38.20m ³	5,119円	87.5kg
シャワーはお湯を流しっぱなしにしない。	45℃の湯を流す時間を1分間短縮した場合	都市ガス 12.78m ³	1,713円	29.3kg

室内（1台あたり）

取組の内容	効果試算の前提条件	削減効果		
		エネルギー	節約金額/年	CO ₂ 削減/年
ガスファンヒーターの設定温度は20℃を目安に。	外気温度6℃の時、暖房の温度を21℃から20℃にした場合 (使用時間9h/日)	都市ガス 8.15m ³	1,092円	18.7kg
ガスファンヒーターは必要なときだけつける。	暖房を1日1時間短縮する。 (設定温度20℃)	都市ガス 12.68m ³	1,699円	29.0kg
石油ファンヒーターの設定温度は20℃を目安に。	外気温度6℃の時、暖房の温度を21℃から20℃にした場合 (使用時間9h/日)	灯油 10.22L	797円	25.4kg
石油ファンヒーターは必要なときだけつける。	暖房を1日1時間短縮する。 (設定温度20℃)	灯油 15.91L	1,241円	39.6kg
電気カーペットの設定温度は低めに。	3畳用で、設定温度を「強」から「中」にした場合 (使用時間5h/日)	電力 185.97kWh	4,463円	66.0kg (128.3kg)
こたつの設定温度は低めに。	設定温度を「強」から「中」にする。 (使用時間5h/日)	電力 48.95kWh	1,175円	17.4kg (33.8kg)

トイレ（1台あたり）

温水洗浄便座は温度設定をこまめに調整、使わないときはフタを閉める。	フタを閉めた場合と開けっ放しにした場合の比較	電力 34.90kWh	838円	12.4kg (24.1kg)
-----------------------------------	------------------------	----------------	------	--------------------

自動車（1台あたり）

アイドリングストップ（5分間）	10分間のアイドリングで、130cc程度の燃料浪費、40kmごとに5分間のアイドリングをストップした場合	ガソリン 17.33L	2,253円	40.2kg
ふんわりアクセル	普通の発進より少し緩やかに発進すると（最初の5秒で時速20キロが目安）11%程度燃費が改善	ガソリン 83.57L	10,864円	193.9kg
加減速の少ない運転	加減速を少なくすると2%程度燃費が改善	ガソリン 29.29L	3,808円	68.0kg
早めのアクセルオフ	エンジンプレーキで2%程度燃費が改善	ガソリン 18.09L	2,352円	42.0kg (78.0kg)

家電製品全般（1世帯あたり）

使わないときはコンセントを抜き、待機電力を少なくする。	全体の待機電力285kWh/世帯/年から製品の使用に支障のない範囲でコンセントを抜いた場合の待機電力172kWh/世帯/年を引いた値	電力 113.00kWh	2,712円	40.1kg
-----------------------------	--	-----------------	--------	--------

出所：家庭の省エネ大辞典2010（省エネルギーセンター）、待機時消費電力調査報告書（省エネルギーセンター）

注）取組メニューの効果は上記出所に基つき、以下の値を用いて再計算しました。

金額換算 電力 24円/kWh（関西電力株の従量電灯Aの第2段の電力単価24円（2010年10月現在））

都市ガス 134円/m³（大阪ガス株のB料金の単位料金134円（2010年10月現在））

ガソリン 130円/L（石油情報センター 一般小売価格・給油所石油製品・月次調査の大阪府のレギュラーガソリン（2010年10月現在））

灯油 78円/L（石油情報センター 一般小売価格・給油所石油製品・月次調査の大阪府の灯油（2010年10月現在））

CO₂換算 電力 0.355kg-CO₂/kWh（関西電力株の2008年排出係数）

カッコ内は、0.69 kg-CO₂/kWh（中央環境審議会地球環境部会目標達成プロジェクト小委員会中間取りまとめ2001年7月）の場合の削減量都市

ガス 2.29 kg-CO₂/m³（大阪ガス株の排出係数）

ガソリン 2.32 kg-CO₂/L

灯油 2.488kg-CO₂/L

買換えによる削減効果



古い冷蔵庫を省エネタイプに買換えよう



古いエアコンを省エネタイプに買換えよう



古いテレビを省エネテレビに買換えよう



家庭用燃料電池や高効率の給湯器を導入しよう



白熱電球を電球型蛍光灯やLED照明へ買換えよう



ハイブリッド自動車や電気自動車などの低公害車に買換えよう



: 1世帯で1年間で千kg以上CO₂を削減



: 1世帯で1年間で百～千kg以上CO₂を削減



: 1世帯で1年間で数十kg程度CO₂を削減又は効果が一定でないもの

出所：チャレンジ25キャンペーンHPを基に作成

省エネ家電に買換えるときは、省エネ製品買換えナビゲーション

「しんきゅうさん」(<http://shinkyusan.com/index.html>)で調べることもできます。

買換えには、その製品を製造する際にも二酸化炭素を排出していますので、不必要に買換えを促すものではありません。